



## 経済学科 企業人育成課程・開講科目一覧（2014年度入学生）

区分	授業科目	*印必修	単位	開講年次	課程修了に必要な単位数
地域と海外のフィールドで学ぶ	NPOコミュニティ論	*	2	1	3年次後期までに40単位
	岐阜県コミュニティ診断士	*	2	1	
	地域フィールドワーク		2	1	
	海外フィールドワーク		2	1	
	海外語学研修	*	4	1	
現代経済や企業経営への洞察力を身につける	公共政策特論	*	2	2	
	金融論		4	2	
	財政学		4	2	
	経営学総論	*	2	2	
	現代企業論		2	2	
	経営管理論		2	2	
	経営戦略論		2	2	
企業経営の実態を知る	日商簿記検定3級	*	2	1	
	日商簿記検定2級		4	1	
	地域企業研究Ⅰ	*	2	2	
社会人としての基礎力を身につける	地域企業研究Ⅱ	*	2	2	
	地域企業研究Ⅲ	*	2	2	
	地域企業研究Ⅳ	*	2	2	
	地域企業研究演習Ⅰ	*	4	2	
	地域企業研究演習Ⅱ	*	4	3	
	キャリア形成Ⅰ		2	1	
キャリア形成Ⅱ		2	2		
キャリア形成Ⅲ		2	3		
キャリア形成Ⅳ		2	3		
インターンシップA	*	2	2		

\*印の授業科目は必修科目。

「岐阜県コミュニティ診断士」、「日商簿記検定3級」、「日商簿記検定2級」は、当該資格試験に合格した場合に単位認定する。

## 公共政策学科・開講科目一覧（2014年度入学生）

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数
基礎教育科目	基礎演習 A	4	1	4単位 2単位
	基礎演習 B	2	1	
	情報リテラシー A	2	1	14単位
	情報リテラシー B	2	1	
	文章表現法	2	1	
	統計調査論	2	1	
	ビジネスプレゼンテーション	2	2	
	データベース	2	2	
	岐阜地域研究	2	1	
	海外フィールドワーク	2	1	
	ポランティア A	2	1	
	ポランティア B	2	1	
	NPOコミュニティ論	2	1	
	歴史学 A	2	1	18単位 (公表でなくても 済む場合)
	歴史学 B	2	1	
政治学	2	1		
経済学	2	1		
社会学	2	1		
地理学 A	2	1		
地理学 B	2	1		
生物学	2	1		
数学 I	2	1		
数学 II	2	1		
統計学	2	1		
倫理学	2	1		
宗教学	2	1		
心理学	2	1		
教育学	2	1		
文化人類学	2	1		
文学	2	1		
ジェンダー論	2	1		
健康論	2	1		
環境論	2	1		
医学一般	2	1		
法律科目	法学	2	1	18単位 (社会系 履修の場合)
	憲法	2	1	
	日本国憲法	2	1	
	行政法 I	2	1	
	行政法 II	2	1	
	民法 I	2	1	
	民法 II	2	1	
	商法	2	2	
	労働法	2	2	
	経済法	2	2	
語学	英語 I	2	1	2単位
	ドイツ語 I	2	1	
	フランス語 I	2	1	2単位
	中国語 I	2	1	
	英語 II	2	1	2単位
	ドイツ語 II	2	1	
中国語 II	2	1		
ことばと文化	オーラルコミュニケーション	2	2	4単位
	メディアコミュニケーション	2	2	
	アメリカの文化	2	2	
	イギリスの文化	2	2	
	ヨーロッパの文化	2	2	
	中国の文化	2	2	
LSP	英語会話 I	4	1	10単位 (備考1参照)
	英語会話 II	4	1	
	中国語会話 I	2	1	
	中国語会話 II	2	1	
	英語検定	4	1	
	時事英語	2	1	
	ビジネス英語	2	1	
	外書講読 A	2	3	
	外書講読 B	2	3	
	海外語学研修	4	1	
留学生	日本語 I	2	1	10単位 (備考1参照)
	日本語 II	2	1	
	基礎英語 I	2	1	
	基礎英語 II	2	1	
体育	体育実技 A	1	1	2単位
	体育実技 B	1	1	
専門教育科目	公共政策入門	2	2	18単位
	公共倫理と市民社会	2	2	
	公共政策論 I	2	2	
	公共政策論 II	2	2	
	社会福祉原論 I	2	2	
	社会福祉原論 II	2	2	
	社会福祉保障論	2	2	
	労働経済論	2	2	
	地域経済論	2	3	
	現代家族論	2	2	
	非営利事業論	2	2	
	食環境論	2	3	
社会地理学	2	2		
地域福祉論	2	2		
高齢者福祉論	2	2		

＜就職・資格取得支援科目群＞

授業科目	単位数	開講年次
公務員基礎講座 I	2	3
公務員基礎講座 II	2	3
公務員基礎講座 III	2	3

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数
公共政策	障害者福祉論	2	2	24単位
	社会的扶助論	2	2	
	児童福祉論	2	2	
	コミュニティサービスラーニング	2	2	
	現代公務員論	2	2	
	公共政策特論	2	2	
	行政学	2	2	
	地方自治論	2	3	
	都市計画論	2	3	
	文化政策論	2	3	
	環境政策論	2	3	
	教育政策論	2	3	
	経済原論	4	2	
	マクロ経済学	4	2	
	ミクロ経済学	4	2	
経済統計学	4	2		
金融論	4	2		
財政学	4	2		
経済政策論	4	2		
日本経済論	2	2		
国際経済論	2	2		
国際政治論	2	3		
地方財政論	2	3		
公務員研究特論 I	2	3		
公務員研究特論 II	2	3		
専門教育科目	福祉行政と福祉計画	2	3	24単位
	福祉環境論	2	1	
	福祉工学	2	2	
	福祉情報ネットワーク論	2	3	
	福祉サービスの組織と経営	2	3	
	障害の理解	2	2	
	保健医療サービス	2	2	
	権利擁護と成年後見	2	3	
	就労支援と更生保護	2	3	
	介護概論	2	2	
	介護実践論	2	3	
	生涯スポーツ論	2	1	
	レクリエーション活動援助法	2	3	
	相談援助の基礎と専門職 I	2	1	
	相談援助の理論と方法 I	2	2	
相談援助の理論と方法 II	2	2		
ソーシャルワーク演習 I	2	2		
ソーシャルワーク演習 II	2	2		
ソーシャルワーク演習 III	2	2		
ソーシャルワーク演習 IV	2	3		
ソーシャルワーク演習 V	2	3		
ソーシャルワーク実習指導 I	2	2		
ソーシャルワーク実習指導 II	2	3		
ソーシャルワーク実習指導 III	2	3		
簿記 I	4	1	12単位	
簿記 II	4	1		
原簿計算	4	2		
簿記原簿計算	4	2	6単位 (備考3参照)	
演習 I	4	2		
演習 II	4	3		
演習 III	4	4	10単位 (備考3参照)	
検定科目	*	1		
キャリア形成 I	2	2		
キャリア形成 II	2	2		
キャリア形成 III	2	3		
キャリア形成 IV	2	3		
インターンシップ A	2	2		
インターンシップ B	2	2		
就職課程科目	*	1		
社会福祉士課程科目	*	1		
資格自己研修	*	1		
公務員基礎講座	*	3		
自由科目	特殊講義 A	2	1	10単位 (備考1参照)
	特殊講義 B	2	1	
	公務員・教養講座	2	2	
	自由研究	2	1	
	コンソーシアム特殊講義 A	2	1	
コンソーシアム特殊講義 B	2	1		
特別演習 A	2	1	10単位 (備考1参照)	
特別演習 B	2	1		
他学部・他学科科目	*	1		
他大学科目	*	1		
合計	基礎教育科目20単位、ことばと文化10単位、体育2単位、専門教育科目42単位、演習12単位、就職資格取得支援科目8単位、全体から30単位 合計124単位			

備考

- 外国人留学生については、「日本語 I・II」「基礎英語 I」「日本語コミュニケーション A・B」を「ことばと文化」群の卒業必要単位とする。なお「基礎英語 I」にかえて「英語 I」「ドイツ語 I」「フランス語 I」「中国語 I」を履修することができる。ただし、母国語以外の語学に限る。
- 検定科目は、別に定める検定試験に合格した場合に単位を認定する。
- 外国人留学生は、他分野の卒業必要単位数を超える修得単位をもって「就職・資格取得支援科目」の卒業必要単位6単位とすることができる。
- \*の科目は、それぞれ複数科目を履修することができる。資格自己研修に係る単位認定については、別に定める。
- 「特別演習 A・B」は、短期留学生のみ受講できる。

＜自由科目群＞

授業科目	単位数	開講年次	備考
教養講座 数学	2	2	
教養講座 社会科学 I	2	2	政治・経済
教養講座 社会科学 II	2	2	地理・歴史
教養講座 自然科学	2	2	
教養講座 論文・専門記述	2	3	

## 社会福祉士の受験資格を得るための授業科目

授業科目		単位数	開講年次	備考
*	社会福祉原論Ⅰ	2	2	
*	社会福祉原論Ⅱ	2	2	
*	地域福祉論	2	2	
*	高齢者福祉論	2	2	
*	障害者福祉論	2	2	
*	児童福祉論	2	2	
*	社会保障論	4	2	
*	公的扶助論	2	2	
*	社会調査	2	3	
*	コミュニティワーク	2	2	
*	相談援助の基盤と専門職	2	1	
*	相談援助の理論と方法Ⅰ	2	2	
*	相談援助の理論と方法Ⅱ	2	2	
*	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
*	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	2	
*	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	2	
*	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	3	
*	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2	3	
*	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2	
*	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	3	
*	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	3	
*	ソーシャルワーク実習	4	3	
*	心理学	2	1	
*	社会学	2	1	
*	医学一般	2	1	
*	福祉行財政と福祉計画	2	3	
*	保健医療サービス	2	2	
*	福祉サービスの組織と経営	2	3	
*	就労支援と更生保護	2	3	
*	権利擁護と成年後見	2	3	
**	社会福祉特別講座A	2	3	
**	社会福祉特別講座B	2	4	
**	社会福祉特別講座C	2	4	
**	社会福祉特別講座D	2	4	

\*印の授業科目は経済学部公共政策学科で開講。

\*\*印の授業科目は選択科目。

# 経済学科・開講科目一覧 (2013・2012年度入学生)

2013年度・2012年度入学生

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数	
基礎教育科目	基礎演習	4	1	4単位 2単位	
	情報リテラシーA	2	1		
	情報リテラシーB	2	1		
	文章表現法	2	1		
	統計調査論	2	1		
	ビジネスプレゼンテーション	2	2		
	データベース	2	2		
	岐阜地域研究	2	1		14単位
	地域フィールドワーク	2	1		
	海外フィールドワーク	2	1		
	ポランティアA	2	1		
	ポランティアB	2	1		
	NPOコミュニケーション	2	1		
	歴史学A	2	1		
	歴史学B	2	1		
	政治学	2	1		
	経済学	2	1		
	社会学	2	1		
	地理学A	2	1		
	地理学B	2	1		
	生物学	2	1		
	数学Ⅰ	2	1		
	数学Ⅱ	2	1		
	統計学	2	1		
	倫理学	2	1		
	宗教学	2	1		
	心理学	2	1		
	教育学	2	1		
	文化人類学	2	1		
	文学	2	1		
	シニダー論	2	1		
	健康論	2	1		
	環境論	2	1		
	医学一般	2	1		
	法学	2	1	2単位	
日本国憲法	2	2			
行政法Ⅰ	2	2			
行政法Ⅱ	2	2			
民法Ⅰ	2	1			
民法Ⅱ	2	1			
商法	2	2			
労働法	2	2			
経済法	2	2			
英語Ⅰ	2	1	2単位		
ドイツ語Ⅰ	2	1			
フランス語Ⅰ	2	1			
中国語Ⅰ	2	1	2単位		
英語Ⅱ	2	1			
ドイツ語Ⅱ	2	1			
フランス語Ⅱ	2	1			
中国語Ⅱ	2	1	4単位		
オーラルコミュニケーション	2	2			
メディアコミュニケーション	2	2			
アメリカの文化	2	2			
イギリスの文化	2	2			
ヨーロッパの文化	2	2			
中国の文化	2	2			
日本の文化	2	2			
英語会話Ⅰ	4	1	10単位 (備考1参照)		
英語会話Ⅱ	4	1			
中国語会話Ⅰ	2	1			
中国語会話Ⅱ	2	1			
英語検定	4	1			
時事英語	2	1			
ビジネス英語	2	1			
外書講読A	2	3			
外書講読B	2	3			
海外語学研修	4	1			
日本語Ⅰ	2	1	2単位		
日本語Ⅱ	2	1			
基礎英語Ⅰ	2	1			
基礎英語Ⅱ	2	1			
基礎英語Ⅲ	2	1			
体育	1	1	2単位		
体育実技B	1	1			
専門教育科目	経済原論	4	2	8単位	
	マクロ経済学	4	2		
	ミクロ経済学	4	2		
	計量経済学	4	2		
	経済統計学	4	2		
	金融論	4	2		
	財政学	4	2		
	経済政策	4	2		
	社会保障論	4	2		
	日本経済史	4	2		
経済学史	2	2			
経営学総論	2	2			

**〈就職・資格取得支援科目群〉**  
公務員基礎講座

授業科目	単位数	開講年次
公務員基礎講座Ⅰ	2	3
公務員基礎講座Ⅱ	2	3
公務員基礎講座Ⅲ	2	3

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数
国際社会と日本	日本経済論	2	2	2つの区別のいずれか1つから14単位以上を含む18単位
	国際経済論	2	2	
	西洋経済史	2	2	
	東洋経済史	2	2	
	労働経済論	2	2	
	マーケティング論	2	2	
	比較経済システム論	2	2	
	中国企業論	2	2	
	中国金融論	2	2	
	アメリカ地域研究	2	2	
	ヨーロッパ地域研究	2	2	
	アジア地域研究	2	2	
	開発途上国研究	2	2	
	国際政治論	2	2	
	証券市場論	2	2	
情報技術史	2	2		
生活と環境	生活経済論	2	2	備考5参照
	環境生態学	2	2	
	地域福祉論	2	2	
	非営利事業論	2	2	
	農業経済学	2	2	
	社会政策特論	2	2	
	現代家族論	2	2	
	食環境論	2	2	
	地域経済論	2	2	
	社会政策	2	2	
	地方財政論	2	2	
	地方自治論	2	2	
	循環型社会システム論	2	2	
	流域環境論	2	2	
	環境政策	2	2	
企業と経営	現代企業論	2	2	
	経営戦略論	2	2	
	経営組織論	2	2	
	販売管理	4	2	
	ベンチャービジネス	2	2	
	地域企業研究Ⅰ	2	2	
	地域企業研究Ⅱ	2	2	
地域企業研究Ⅲ	2	2		
地域企業研究Ⅳ	2	2		
地域企業研究Ⅰ	4	2		
地域企業研究Ⅱ	4	2		
簿記会計	簿記Ⅰ	4	1	12単位
	簿記Ⅱ	4	1	
	原簿記計算	4	2	
演習	演習Ⅰ	4	2	6単位
	演習Ⅱ	4	3	
	演習Ⅲ	4	4	
就職・資格取得支援科目	検定科目	*	1	2単位
	キャリア形成Ⅰ	2	1	
	キャリア形成Ⅱ	2	2	
	キャリア形成Ⅲ	2	3	
	キャリア形成Ⅳ	2	3	
	インターンシップA	2	2	
	インターンシップB	2	2	
教職課程科目	*	1		
社会福祉士課程科目	*	1		
資格自己研修	*	1		
公務員基礎講座	*	3		
自由科目	特殊講義A	2	1	2単位
	特殊講義B	2	1	
	公務員・教養講座	2	2	
	自由研究	2	1	
	コンソーシアム特殊講義A	2	1	
	コンソーシアム特殊講義B	2	1	
	他学部・他学科科目	*	1	
他大学科目	*	1		
合計	基礎教育科目20単位、ことばと文化10単位、体育2単位、専門教育科目42単位、演習12単位、就職・資格取得支援科目8単位、全体から30単位、合計124単位			

**備考**

- 外国人留学生については、「日本語Ⅰ・Ⅱ」「基礎英語Ⅰ」「日本語コミュニケーションA・B」を「ことばと文化」群の卒業必要単位とする。なお「基礎英語Ⅰ」にかえて「英語Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」「中国語Ⅰ」を履修することができる。ただし母国語以外の語学に限る。
- 検定科目は、別に定める検定試験に合格した場合に単位を認定する。
- 外国人留学生は、他分野の卒業必要単位数を超える修得単位をもって「就職・資格取得支援科目」の卒業必要単位6単位とすることができる。
- \*の科目は、それぞれ複数科目を履修することができる。資格自己研修に係る単位認定については、別に定める。
- 「地域企業研究Ⅰ～Ⅳ」及び「地域企業研究演習Ⅰ・Ⅱ」は、企業人育成課程所属者のみ受講できる。
- 企業人育成課程所属者の卒業要件は、別表第7に定める授業科目を含めて、124単位とする。

**〈自由科目群〉**  
公務員・教養講座

授業科目	単位数	開講年次	備考
教養講座数学	2	2	
教養講座社会科学Ⅰ	2	2	政治・経済
教養講座社会科学Ⅱ	2	2	地理・歴史
教養講座自然科学	2	2	
教養講座論文・専門記述	2	3	

## 経済学科 企業人育成課程・開講科目一覧 (2013・2012年度入学生)

区分	授業科目	*印必修	単位	開講年次	課程修了に必要な単位数
地域と海外のフィールドで学ぶ	NPOコミュニティ論	*	2	1	3年次後期までに40単位
	岐阜県コミュニティ診断士	*	2	1	
	地域フィールドワーク		2	1	
	海外フィールドワーク		2	1	
	海外語学研修	*	4	1	
	公共政策特論	*	2	2	
現代経済や企業経営への洞察力を身につける	金融論		4	2	
	財政学		4	2	
	経営学総論	*	2	2	
	現代企業論		2	2	
	経営管理論		2	2	
	経営戦略論		2	2	
	日商簿記検定3級	*	2	1	
日商簿記検定2級		4	1		
企業経営の実態を知る	地域企業研究Ⅰ	*	2	2	
	地域企業研究Ⅱ	*	2	2	
	地域企業研究Ⅲ	*	2	2	
	地域企業研究Ⅳ	*	2	2	
	地域企業研究演習Ⅰ	*	4	2	
	地域企業研究演習Ⅱ	*	4	3	
社会人としての基礎力を身につける	キャリア形成Ⅰ		2	1	
	キャリア形成Ⅱ		2	2	
	キャリア形成Ⅲ		2	3	
	キャリア形成Ⅳ		2	3	
	インターンシップA	*	2	2	

\*印の授業科目は必修科目。

「岐阜県コミュニティ診断士」、「日商簿記検定3級」、「日商簿記検定2級」は、当該資格試験に合格した場合に単位認定する。

# 公共政策学科・開講科目一覧 (2013・2012年度入学生)

2013年度・  
2012年度入学生

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数	
基礎教育科目	基礎演習	4	1	4単位 2単位	
	情報リテラシーA	2	1		
	情報リテラシーB	2	1		
	文章表現法	2	1		
	統計調査論	2	1		
	ビジネスプレゼンテーション	2	2		
	データベース	2	2		
	まさらライオン	2	1		
	岐阜地域研究	2	1		
	海外フィールドワーク	2	1		
	ポラティアA	2	1		
	ポラティアB	2	1		
	NPOコミュニティ論	2	1		
	歴史学A	2	1		14単位
	歴史学B	2	1		
政治学	2	1			
経済学	2	1			
社会学	2	1			
地理学A	2	1			
地理学B	2	1			
生物学	2	1			
数学I	2	1			
数学II	2	1			
統計学	2	1			
哲学	2	1			
倫理学	2	1			
宗教学	2	1			
心理学	2	1			
教育学	2	1			
文化人類学	2	1			
文学	2	1			
ジャーナリズム	2	1			
健康論	2	1			
環境論	2	1			
医学一般	2	1			
法律科目	法学	2	1	2単位	
	憲法	2	1		
	日本国憲法	2	2		
	行政法I	2	2		
	行政法II	2	2		
	民法I	2	1		
	民法II	2	1		
異文化	英語I	2	1	2単位	
	ドイツ語I	2	1		
	フランス語I	2	1		
	中国語I	2	1		
	英語II	2	1		
ドイツ語II	2	1	2単位		
フランス語II	2	1			
中国語II	2	1			
オーストラリア文化	2	2			
アメリカ文化	2	2			
イギリス文化	2	2			
ヨーロッパ文化	2	2			
中国文化	2	2			
日本文化	2	2			
LSP	英語会話I	4	1	4単位	
	英語会話II	4	1		
	中国語会話I	2	1		
	中国語会話II	2	1		
	英語検定	4	1		
	時事英語	2	1		
	ビジネス英語	2	1		
外書講読A	2	3			
外書講読B	2	3			
海外語学研修	4	1			
留学生	日本語I	2	1	10単位 (備考1参照)	
	日本語II	2	1		
	基礎英語I	2	1		
	基礎英語II	2	1		
体育	体育実技A	1	1	2単位	
	体育実技B	1	1		
専門教育科目	公共政策入門	2	2	18単位	
	公共倫理と市民社会	2	2		
	公共政策論I	2	2		
	公共政策論II	2	2		
	社会福祉原論I	2	2		
	社会福祉原論II	2	2		
	社会福祉保障論	2	2		
	労働経済論	4	2		
	地域経済論	2	2		
	現代家族論	2	3		
	非営利事業論	2	2		
	食環境論	2	3		
	社会地理学	2	2		
	地域福祉論	2	2		
	高齢者福祉論	2	2		

区分	授業科目	単位	開講年次	卒業に必要な単位数
公共政策	障害者福祉論	2	2	24単位
	社会的扶助論	2	3	
	児童福祉論	2	2	
	コミュニティサービスラーニング	2	2	
	現代公務員論	2	2	
	公共政策特論	2	2	
	行政学	2	2	
	地方自治論	2	3	
	都市計画論	2	3	
	文化政策論	2	3	
	環境政策論	2	3	
	教育政策論	2	3	
	経済原論	4	2	
	マクロ経済学	4	2	
	ミクロ経済学	4	2	
経済統計学	4	2		
経済学	4	2		
金融論	4	2		
財政学	4	2		
経済政策論	4	2		
日本経済論	2	2		
国際経済論	2	2		
国際政治論	2	3		
地方財政論	2	3		
公務員研究特論I	2	3		
公務員研究特論II	2	3		
福祉行政と福祉計画	2	3		
福祉環境論	2	1		
福祉工学	2	2		
福祉情報ネットワーク論	2	3		
福祉サービスの組織と経営	2	3		
障害の理解	2	2		
保健医療サービス	2	2		
権利擁護と成年後見	2	3		
就労支援と更生保護	2	2		
介護概論	2	2		
保健実践論	2	3		
生涯スポーツ論	2	1		
レクリエーション活動援助法	2	3		
相談援助の理論と方法I	2	2		
相談援助の理論と方法II	2	2		
ソーシャルワーク演習I	2	2		
ソーシャルワーク演習II	2	2		
ソーシャルワーク演習III	2	2		
ソーシャルワーク演習IV	2	3		
ソーシャルワーク演習V	2	3		
ソーシャルワーク実習指導I	2	2		
ソーシャルワーク実習指導II	2	3		
ソーシャルワーク実習指導III	2	3		
簿記I	4	1	簿記会計	
簿記II	4	1		
原簿計算	4	2		
演習I	4	2	12単位	
演習II	4	3		
演習III	4	4		
就職・資格取得支援科目	検定科目	*	1	2単位(備考2参照) 6単位(備考3参照)
	キャリア形成I	2	2	
	キャリア形成II	2	2	
	キャリア形成III	2	3	
	キャリア形成IV	2	3	
	インターンシップA	2	2	
	インターンシップB	2	2	
教職課程科目	*	1		
社会福祉士課程科目	*	1		
資格自己研修	*	1		
公務員基礎講座	*	3		
自由科目	特殊講義A	2	1	自由科目
	特殊講義B	2	1	
	公務員・教養講座	2	2	
	自由研究	2	1	
	コンソシアム特殊講義A	2	1	
コンソシアム特殊講義B	2	1		
他学部・他学科科目	*	1		
他大学科目	*	1		
合計	基礎教育科目20単位、ことばと文化10単位、体育2単位、専門教育科目42単位、演習12単位、就職資格取得支援科目8単位、全体から30単位 合計124単位			

備考  
 1 外国人留学生については、「日本語I・II」「基礎英語I」「日本語コミュニケーションA・B」を「ことばと文化」群の卒業必要単位とする。なお「基礎英語I」にかえて「英語I」「ドイツ語I」「フランス語I」「中国語I」を履修することができる。ただし、母国語以外の語学に限る。  
 2 検定科目は、別に定める検定試験に合格した場合に単位を認定する。  
 3 外国人留学生は、他分野の卒業必要単位数を超える修得単位をもって「就職・資格取得支援科目」の卒業必要単位6単位とすることができる。  
 4 \*の科目は、それぞれ複数科目を履修することができる。資格自己研修に係る単位認定については、別に定める。

＜就職・資格取得支援科目群＞  
公務員基礎講座

授業科目	単位数	開講年次
公務員基礎講座I	2	3
公務員基礎講座II	2	3
公務員基礎講座III	2	3

＜自由科目群＞  
公務員・教養講座

授業科目	単位数	開講年次	備考
教養講座数学	2	2	
教養講座社会科学I	2	2	政治・経済
教養講座社会科学II	2	2	地理・歴史
教養講座自然科学	2	2	
教養講座論文・専門記述	2	3	

## 社会福祉士の受験資格を得るための授業科目

授業科目	単位数	開講年次	備考
* 社会福祉原論 I	2	2	
* 社会福祉原論 II	2	2	
* 地域福祉論	2	2	
* 高齢者福祉論	2	2	
* 障害者福祉論	2	2	
* 児童福祉論	2	2	
* 社会保障論	4	2	
* 公的扶助論	2	2	
* 社会調査	2	3	
* コミュニティワーク	2	2	
* 相談援助の基盤と専門職	2	1	
* 相談援助の理論と方法 I	2	2	
* 相談援助の理論と方法 II	2	2	
* ソーシャルワーク演習 I	2	2	
* ソーシャルワーク演習 II	2	2	
* ソーシャルワーク演習 III	2	2	
* ソーシャルワーク演習 IV	2	3	
* ソーシャルワーク演習 V	2	3	
* ソーシャルワーク実習指導 I	2	2	
* ソーシャルワーク実習指導 II	2	3	
* ソーシャルワーク実習指導 III	2	3	
* ソーシャルワーク実習	4	3	
* 心理学	2	1	
* 社会学	2	1	
* 医学一般	2	1	
* 福祉行財政と福祉計画	2	3	
* 保健医療サービス	2	2	
* 福祉サービスの組織と経営	2	3	
* 就労支援と更生保護	2	3	
* 権利擁護と成年後見	2	3	
** 社会福祉特別講座 A	2	3	
** 社会福祉特別講座 B	2	4	
** 社会福祉特別講座 C	2	4	
** 社会福祉特別講座 D	2	4	

\*印の授業科目は経済学部公共政策学科で開講。

\*\*印の授業科目は選択科目。

# 経済学部第2・3・4年次生(2014・2013・2012年度入学生)履修方法

## I 成績評価について

### ①出席重視

すべての科目で出席確認（または代替する小テスト）を行います。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は失格となります。

### ②平常点重視

出席や平常点を重視した成績評価が行われます。具体的にどのような方法で成績が評価されるのかということについては、授業時に説明されます。またシラバス（講義計画）にも掲載されています。

## II 履修方法について

各学期に受講登録できる単位数は次のとおりです。制限の範囲内で、自分の興味や関心、卒業要件等を考慮して受講する科目を決定します。

2014・2013年度入学生と2012年度入学生は各学期登録可能単位数が異なりますので注意してください。

### 【2014・2013年度入学生】

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次以上
各学期登録可能単位数	前期・後期 各24単位			

- \* 「基礎演習」などの通年科目は、その単位数の半分を各学期の単位数に算入します。
- \* 累積GPAが3.0以上の者は、登録可能単位数の上限を超えて登録することができます（各学期+2単位）。
- \* 「検定科目」「ボランティアA・B」「インターンシップB」「資格自己研修科目」「海外語学研修」「教職科目」(教職に関する科目)「社会福祉士課程科目」(社会福祉特別講座A・B・C・D)については、登録可能単位数に含めません。
- \* 社会福祉士課程科目は、課程申込者以外の学生は受講登録できません。

### 【2012年度入学生】

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次以上	
各学期登録可能単位数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	23	23	26	26	28	28	30	30

- \* 「基礎演習」などの通年科目は、その単位数の半分を各学期の単位数に算入します。
- \* 教職課程科目、社会福祉士課程科目、再履修必修科目はすべて、上記の登録可能単位数の中に含まれます。ただし社会福祉士課程科目は、課程申込者以外の学生は受講登録できません。
- \* 「検定科目」「ボランティアA・B」「インターンシップB」「資格自己研修科目」「海外語学研修」については、登録可能単位数に含めません。

## 第1年次の履修方法

1年次生には、オリエンテーション期間中にオリエンテーションゼミ（履修ガイダンス）を実施します。「基礎演習」ごとに担当教員が履修ガイダンスを実施します。受講登録についてよく理解できない部分については、この時間に質問しましょう。このオリエンテーションゼミは、第1回目の授業に位置づけていますので、必ず全員が出席しなければなりません。

### Step 1 1年次で必ず受講しなければならない科目を確認する

次ページの科目は1年次生全員が受講しなければならない科目です。あらかじめ入学式に配付された「受講登録確認表」で登録状況を確認してください。

科目名	単位数	経済学科・公共政策学科
「基礎演習」	4 単位 (登録単位数は前・後期各2単位で計算)	大学での学び方や大学生活の送り方などの必要な情報やアドバイスを受け、学生間、担当教員との交流を図りながらすすめます。 入学前の希望に基づき担当者が決められており、この科目の担当者があなたの担任となります。<必修科目>
「情報リテラシーA」 「情報リテラシーB」	前期 2 単位 後期 2 単位	入学前のアンケートに基づきクラス分けしています。<「情報リテラシーA」のみ必修科目> 「P検」の学習を支援します。
「英語Ⅰ」	前期 2 単位	オリエンテーション時のプレースメントテストによってクラスを分け、掲示発表します。自分のクラス(担当者)を確認して、それぞれの授業に出席してください。<必修科目>
第二外国語Ⅰ (ドイツ語、フランス語、中国語のうちいずれか1か国語)	前期 2 単位	入学前の希望に基づき既に登録されています。 なお、決定した語学の種類を途中で変更することはできません。<必修科目>
「英語Ⅱ」又は第二外国語Ⅱ (英語、ドイツ語、フランス語、中国語のいずれか1か国語)	後期 2 単位	後期には、英語又は第二外国語のいずれか1か国語のⅡを受講します。後期の予備登録時に手続きしてください。なお、第二外国語Ⅱとする場合は、第二外国語Ⅰと同一外国語しか選択できません。<必修科目>
「体育実技A」 「体育実技B」	前期 1 単位 後期 1 単位	割り当てられた時間帯に受講します。第1回目(「体育実技B」は後学期第1回目)の授業時に種目を決定します。 種目決定しないと登録完了となりませんので注意してください。<必修科目>
「経済学」	前期または後期 2 単位	「現代経済検定」の学習を支援します。 「受講登録表」の時間帯で受講します。
「キャリア形成Ⅰ」	前期 2 単位	基礎学力の向上と就職対策を目的としています。 「受講登録表」の時間帯で受講します。
「文章表現法」	前期または後期 2 単位	「漢検」の学習を支援します。(留学生除く) 「受講登録表」の時間帯で受講します。

\*留学生は、学科ごとの開講科目一覧で示す「ことばと文化」の「語学」の区分に代えて「留学生」の区分の科目を受講してください。

## Step 2 選択科目を決め、受講登録をする

- ① 「Step 1」について、すでに受講登録されている時間帯を確認します。次に空いている時間に開講されている1年次開講科目の中から、受講したい科目を選択します。
  - ・2年次以上に開講されている科目は受講できません。
  - ・前期、後期それぞれ登録可能単位24単位の中から、上記の必ず受講しなければならない科目の単位を減じ、残りの単位の範囲内で自由に選択して受講することができます。
  - ・各区分で卒業に必要な単位数が定められていますので、各区分からバランスよく受講することが望まれます。
  - ・公共政策学科の学生は、卒業までに「公共マネジメント」「ソーシャルワーク」の2コースのうち、いずれか1コースの18単位を含めて24単位以上を履修することとしています。2年次でこの2つのコースのいずれかを選択し受講することになりますのであらかじめコース選択を意識して科目を登録しましょう。
  - ・選択にあたっては、シラバス(講義計画)と時間割表を参照し、年間計画を立てた上で、当該学期に受講する科目を決定します。
- ② 講義が開始されたら自分で選択しようと考えている授業に出席します。受講登録がすんでいなくても、授業には出席してください。第1回目の授業から出席をとります。
- ③ 受講登録期間内に学内のパソコンよりWeb受講登録を行います。

## 第2年次の履修方法

オリエンテーション期間中、「演習Ⅰ」ごとに担当教員がオリエンテーションゼミ（履修ガイダンス）を実施します。受講登録についてよく理解できない部分については、この時間に質問しましょう。このオリエンテーションゼミは第1回目の授業に位置づけていますので、必ず全員が出席しなければなりません。

### Step 1 2年次で必ず受講しなければならない科目を確認する

- ① 「経済原論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の3科目の中から2科目以上の単位を修得しなければなりません。3科目とも、学生番号により時間割が指定登録されます。〈経済学科のみ〉
- ② 社会福祉士課程の履修を希望する学生は、「社会福祉士課程履修要項」のページをよく読み、必要科目を優先的に履修します。〈公共政策学科のみ〉
- ③ 「公共政策特論」を履修必修とします。
- ④ 「コミュニティサービスラーニング」を履修必修とします。〈公共政策学科のみ〉。
- ⑤ 「演習Ⅰ」：1年次秋に募集を行い所属を決定します。

### Step 2 1年次の必修科目で単位を修得できなかった科目を再度履修する

- ① 「基礎演習」、「情報リテラシーA」、外国語、「体育実技A・B」の再履修
- ② 「P検」、「現代経済検定」、「漢検」の中から2科目以上合格する必要があります。まだ合格していない人は、2年次で合格できるようにしてください。

### Step 3 選択する科目を決め、受講登録をする

- ① 開講科目一覧の1・2年次開講科目の中から、資格取得のために必要な科目や、受講したい科目を選択します。Webシラバスと時間割表を参照し、年間計画を立てた上で、当該学期に受講する科目を決定します。
- ② 経済学科の学生は、卒業までに「国際社会と日本」「生活と環境」の2コースのうち、いずれか1コースの16単位を含めて20単位以上を履修することとしています。3年次ではこの2つのコースのいずれかを選択し受講することになりますから、2年次においてはそれぞれのコースの基礎的な科目「日本経済論」、「国際経済論」、「生活経済論」、「環境生態学」を受講し、3年次でのコース選択につなげていきましょう。
- ③ 受講登録期間に学内のパソコンによりWeb受講登録を行います。

## 第3年次の履修方法

### Step 1 3年次で必ず受講しなければならない科目を確認する

- ① 「演習Ⅱ」：「演習Ⅰ」と同じ担当者の「演習Ⅱ」で自動登録されます。（「演習Ⅰ」不合格者は、「演習Ⅰ」の再履修クラスか前年と同じ担当者の「演習Ⅰ」を履修することになります。）
- ② 「キャリア形成Ⅲ」、「キャリア形成Ⅳ」は、就職活動を支援することを目的とする科目です。

### Step 2 1・2年次の必修科目で単位を修得できなかった科目を再度履修する

- ① 「基礎演習」、「演習Ⅰ」、「情報リテラシーA」、外国語、「体育実技A・B」の再履修
- ② 「経済原論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の再履修（3科目のうち2科目以上の単位修得が必要）  
〈経済学科のみ〉  
「公共政策入門」、「社会福祉原論Ⅰ」、「社会福祉原論Ⅱ」、「公共倫理と市民社会」、「公共政策論Ⅰ」、

「公共政策論Ⅱ」のうち4科目以上の単位修得が必要。〈公共政策学科のみ〉

- ③ 「P検」、「現代経済検定」、「漢検」の中から2科目以上合格する必要があります。まだ合格していない人は、3年次で合格できるようにしてください。

### Step 3 選択する科目を決め、受講登録をする

- ① 開講科目一覧の1～3年次開講科目の中から、資格取得のために必要な科目や、受講したい科目を選択します。Webシラバスと時間割表を参照し、年間計画を立てた上で、当該学期に受講する科目を決定します。経済学科においては、「国際社会と日本」「生活と環境」のいずれかのコースを、3年次の受講登録時に選択します。選択したコース科目を16単位以上履修しましょう。一度選択したコースは4年次で変更することはできません。
- ② 受講登録期間に学内のパソコンによりWeb受講登録を行います。

## 第4年次の履修方法

### Step 1 4年次で必ず受講しなければならない科目を確認する

「演習Ⅲ」：前年度「演習Ⅱ」と同じ担当者の「演習Ⅲ」で自動登録されています。

### Step 2 1～3年次の必修科目で単位を修得できなかった科目を再度履修する

- ① 「基礎演習」、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「情報リテラシーA」、外国語、「体育実技A・B」の再履修
- ② 「経済原論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」の再履修(3科目のうち2科目以上の単位修得が必要)〈経済学科のみ〉  
「公共政策入門」、「社会福祉原論Ⅰ」、「社会福祉原論Ⅱ」、「公共倫理と市民社会」、「公共政策論Ⅰ」、「公共政策論Ⅱ」のうち4科目以上の単位修得が必要。〈公共政策学科のみ〉
- ③ 「P検」、「現代経済検定」、「漢検」の中から2科目以上合格する必要があります。まだ合格していない人は、4年次で合格できるようにしてください。

### Step 3 選択科目を決め、受講登録をする

- ① 開講されている科目の中から、資格取得のために必要な科目や、受講したい科目を選択します。Webシラバスと時間割表を参照し、年間計画を立てた上で、当該学期に受講する科目を決定します。
- ② 受講登録期間に学内のパソコンによりWeb受講登録を行います。